

事後評価概要

事業名	農地防災事業(河川応急)	地区名	江袋 ^{えぶくろ}
事業箇所	熊谷市	事業実施機関	大里農林振興センター
総事業費	2億4460万円	事業期間	平成29年度～平成30年度
事業の概要	<p>【事業目的】 江袋堰は、昭和58年に福川改修工事に伴う補償工事として設置され、約31年が経過し、近年、堰袋体内に河川水が浸入し、堰の倒伏に支障が出ている状況である。</p> <p>洪水時に堰の倒伏遅延が原因となり水害が発生した場合には、地域住民の生命、財産に重大な被害を及ぼすことが想定されるほか、堰が損壊した場合には、農業用水の取水が不能となり、本地区の営農に多大な被害が発生する可能性がある。</p> <p>については、堰及び付帯設備を改修することにより、周辺地域住民の安全確保、農業用水の安定供給、農業経営の安定化を図るものである。</p> <p>【事業内容】 ラバー堰(幅33.9m×高1.6m)更新 一式</p>		
事業効果	実施前	現在	
	経年劣化によりラバー堰本体や配管類に漏水が生じ、これによる堰の動作不良により、農業用水の取水に支障が出ていた。また、洪水時に堰の動作不良により堤防の決壊や溢水の恐れがあった。	ラバー堰本体や配管類を更新したことにより堰の動作不良は解消され、安定的な農業用水の取水が回復した。また、洪水時の治水安全性が確保された。	
その他	<p>【事業着手前、完了時及び現在の状況】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>事業着手前 (H27.5.20) ラバー堰内部に水が溜まり完全な起立、倒伏が出来ず、十分な取水が困難な状況。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>事業完了時 (H31.6.19) ラバー堰は規定高さまで起立し正常な取水が再開された。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現在(R6.7.18) ラバー堰は正常に稼働しており、安定的な取水が継続している。</p> </div> </div>		
事後評価結果	農業用水の安定供給により、地域の農業経営の安定化が図られている。また、洪水時の河川堤防の決壊や溢水の恐れが解消され、治水安全性が確保されている。		

